

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 3 年 1 月 9 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 管理部門長 錢谷 弘

1. 調達内容

- (1) 調達件名及び数量 鯨類眼球水晶体アスパラギン酸ラセミ分析業務 一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 令和 4 年 2 月 1 0 日
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する金額を切り捨てた金額（当該金額に消費税及び地方消費税に係る課税事業者希望の有無にかかわらず、見積り金額を落札価格とすることを除く）を以て入札書に記載する。入札書に記された金額は、消費税の100分の100に相当する金額とする。

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和1・2・3年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「調査・研究」で「A」、「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。

3. 入札説明書等の交付方法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書の交付を受けること。）

① 直接交付
神奈川県横浜市区福浦 2-1-2-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所
管理部門管理課用度担当
電話 045-788-7084
FAX 045-788-5001

② 郵送による交付
封書に「鯨類眼球水晶体アスパラギン酸ラセミ分析業務入札説明書希望」と記入し、返信用封筒（角2）に250円切手を貼付し、上記①あて郵送のこと。

③ メールによる交付
任意書式に「鯨類眼球水晶体アスパラギン酸ラセミ分析業務入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に関する質疑がある場合には、令和3年11月19日までに上記3.あてにメール（アドレスは入札説明書の記載のとおり）を取りまとめ、回答は入札説明書受領者全員に対して行うとともに、当機構のホームページにて公表することにより入札説明会に代える。

なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合は、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

5. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所 令和3年11月30日 14時00分
神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 ビデオライブラリー室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所 令和3年11月30日 12時00分
3. ①に同じ。

6. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

7. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先
次の①及び②いずれにも該当する契約先
① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等※注1として再就職していること
② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること
※注2
なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えたと認められる者を含む。
※注1
※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。
- (2) 公表する情報
上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名
② 当機構との間の取引高
③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨
- (3) 当機構に提供していただく情報
① 契約締結日時時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高
- (4) 公表日
契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

業 務 仕 様 書

1. 件 名 鯨類眼球水晶体アスパラギン酸ラセミ分析業務
2. 業務目的 本業務は、ラセミ比を用いた年齢推定モデルを作成するために、2021年に商業捕獲された鯨類の眼球水晶体中クリスタリンのアスパラギン酸L体とD体を測定することを目的とする。
3. 数 量 60 検体
4. 納品場所 神奈川県横浜市金沢区福浦 2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構 横浜庁舎
5. 業務期限 令和4年 2月10日
6. 業務内容
 - 1) 試料の送付；当所から鯨類眼球水晶体中心核凍結試料（ホモジネート済み）を契約締結後速やかに請負業者に送付する。送付する試料とともに試料番号や鯨種等詳細を記した試料一覧表を添付する。なお、試料送付にかかる費用は請負業者が負担すること。
 - 2) 試料の前処理；分析の前処理として送付した試料の加水分解を行う。その際、塩酸ガスを吹き付けて加水分解する方法が望ましいが、塩酸溶液を直接添加する方法でも良い。加水分解後の試料を窒素気流下で乾固し、水／メタノール混液 100 μ L で再溶解する。その後 10,000rpm, 120 分間の遠心で限外ろ過を行い、得られたろ液を試料抽出原液とする。プレカラム誘導体化によりジアステレオマー化した後、LC-MS/MS 分析を行う。
 - 3) 試料の分析；高速液体クロマトグラフィー（UPLC・HPLC）分析機器にかけクリスタリンに含まれるアスパラギン酸のL体とD体を定量分析する。
 - 4) 濃度の算出；検量線試料のピーク面積比を用いて、最小二乗法による一次回帰直線式から検量線を作成し、実試料およびQC（品質管理）試料のピーク面積比を検量線に当てはめ測定値を算出する。また、D-アスパラギン酸定量値をL-アスパラギン酸定量値で除し、試料ごとのD/L比を算出する。

【適合基準】

- 1) 検量線は定量下限が $100 \pm 20\%$ 以内、その他の濃度で $100 \pm 15\%$ 以内であること。

$$\text{真度 (\%)} = \text{測定値} / \text{理論値} \times 100$$

- 2) 2 濃度の QC 試料のうち、少なくともいずれか一方の添加回収率が $100 \pm 15\%$ 以内であること。

【分析体制】

- 1) 送付した試料は海外へ持ち出さず一連の処理及び分析は日本国内で実施すること。
- 2) 取得した分析データについて、厳密な秘密保持体制を有していること。
- 3) 試料保管に関して、電力消失に備えたバックアップ機能を有する凍結庫で、 -20 度以下で管理すること。

7. 成 果 物 業務完了後は、以下の成果物を速やかに送付、納入すること。

- ・測定結果報告書 2 部

報告書には実施した分析内容を記し、以下の項目について明記すること。
使用した機器、試薬、調整試薬、測定法、濃度算出法、適合基準、検量線結果、測定結果、最終的な DL アスパラギン酸含有量と D/L 比率の一覧表（標本一覧との対応が明瞭なもの）

- ・測定結果報告書と本分析で得られた情報のデータファイルを保存した電子媒体（CD-R 等） 2 部

8. そ の 他 詳細については担当職員の指示に従うこと。